

日本東亞同文書院編

(第四十冊)

中國省別全志

綫裝書局

图书在版编目 (C I P) 数据

中国省别全志:全 56 册:中文、日文 / 日本东亚同文书

院编.--影印本.--北京:线装书局,2015.4

ISBN 978-7-5120-1778-8

I. ①中… II. ①日… III. ①地方史—史料—中国—
1907 ~ 1918—汉文、日文②地方史—史料—中国—1941
~ 1949—汉文、日文 IV. ①K29

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2015) 第 048917 号

中国省别全志

主 编

日本东亚同文书院

责任编辑

赵 鹰

出版发行

线装书局

地 址 北京市西城区鼓楼西大街四一号

邮 编 一〇〇〇〇九

电 话 六四〇四五二八三

网 址 www.xzhbc.com

三河友邦彩色印装有限公司

一一三四〇千字

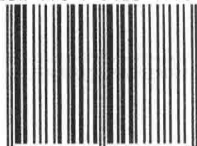
二〇〇〇

二〇一五年四月第一版第一次印刷

四〇套

四二〇〇〇元 (全五十六册)

ISBN 978-7-5120-1778-8



9 787512 017788 >

第四十冊

第二卷 四川省（下）（二） 昭和十六年 一九四一年 東亞同文會……………一

四

川

省

（下）

（二）

昭和十六年

一九四一年

東亞同文會

第二卷

四川省

(下)
(二)

昭和十六年

一九四一年

東亞同文會

四

川

省

(一)

(二)

第二卷

東亞同文會

一六四一平

細麻十六平

第五編 經濟

第一章 貿易

一、概 説

四川省には重慶及び萬縣の二開港場あり、四川省の輸出入貿易は主としてこの二開港場を経由して行はれる。右重慶及び萬縣海關經由の輸出入貿易は、盛んな時には年一億五千萬元以上にも上つてゐる。民國二十一年以前は毎年の入超額は一千餘萬元乃至三千萬元であつた。この入超の數字は海關經由の貿易に限られてゐる故に、四川省の對外貿易の全體を代表してゐる譯ではないが、しかし四川省の全商品の多くは重慶、萬縣兩地を中心として出入してゐるのであるから重慶、萬縣兩地の輸出入が既に入超の現象を呈してゐる以上、四川省の輸出は輸入を補ふに足りないことは概ね想像することが出来る。且つ雲南、貴州、陝西、甘肅等より年々多量の物産、例へば藥材、山貨等が四川省に輸入され、もしこれをも加へると四川の對外入超は恐らく更に増加するものと思はれる。茲に民國十三年より二十三年に至る十一年間の重慶及び萬縣兩海關の輸出入統計を表示すれば次の如くである。(單位國幣千元)

年 度	輸 入	輸 出	入 超	輸 出 入 合 計
民國十三年	七二、五六二	五三、五一九	一八、〇四三	一二五、〇八一
同 十四年	七九、四二八	五一、〇一五	二八、四一三	一〇三、四四三
同 十五年	八一、四三三	五五、八一	二五、六一〇	一三七、二三二
同 十六年	六九、四五〇	五一、七八二	一七、六六八	一二一、二三二
同 十七年	八三、三五一	五七、六一八	二五、七三四	一四〇、九七〇
同 十八年	八五、七四二	六九、〇六八	一六、六七四	一五四、八一〇
同 十九年	九三、八三二	七〇、〇三八	二三、七九四	一六三、八七〇
同 二十年	八七、二三九	五六、五七一	三〇、六六八	一四三、八一〇
同 二十一年	六〇、一二九	四〇、五七三	一九、五五六	一〇〇、七〇二
同 二十二年	五〇、九〇九	四三、九三七	七、九七二	九三、八四六
同 二十三年	三六、七七九	三四、一六三	二、六一六	七〇、九四二

(※)印 萬縣輸出入の見積額による

前記の表を見れば四川の對外輸出入は、ともに二十一年より急に減少し、同時に入超も大いに減少してゐる。その原因を推察すれば次の二つが挙げられるであらう。

(一) 近來直接に郵便にて送る荷物が日増しに多くなつてゐる。郵便で直接に送れば苛酷な雑税を免れることが出来るために、重慶の對外商業は近來大いに衰微し、海關經由の貿易も同様な理由から減退を示した。

(二) 滿洲國獨立後、四川省物産の輸出は深刻な打撃を受け、輸出が減少するに隨つて輸入もまた減少した。これと同時に省内に赤禍蔓延して人民の購買力は減退し、土地の產物で時局のため搬出出来ないものも甚だ多く、これまた民國二十三年度貿易の特に衰微した原因の一つである。

故に最近三ヶ年の海關輸出入數量は、四川省對外貿易の常態を代表するに足りないものである。換言すれば表面上の近來の入超減少は事實の真相ではなく、一つには海關を經由せぬ貿易が増加したためであり、實際上の入超は數年前の狀況より推測すれば、必ずやこれ以上の數字に上つてゐると思はれる。

四川省の輸出品は四川省及び各隣接省の產物であつて、就中原料品を主としてゐる。輸入品は二種類に分けることが出来る。一は國產品であり、一は外國品である。外國品の直接四川に輸入されるものは比較的少なく、大部分は上海或は漢口經由にて輸入される。四川の歷年の輸出を見て、數字上について云へば、輸出額は大陸國產品の輸入額と同じ位であり、超過部分は殆ど外國品である點も注意すべきである。いまこれ等輸出入の狀況を表せば次の如くである。(單位國幣千元)

年 度	外國品輸入	國產品輸入	輸 出	入 超	國產品輸入の 輸出に對する 百分比	外國品輸入の 入超に對する 百分比
民國十三年	二一、二四三	五〇、三一九	五三、五一九	一八、〇四三	九四%	一一七%

同	十四年	二一、〇〇五	五八、四二三	五一、〇一五	二八、四一三	一一四	七四
同	十五年	二二、〇一八	五九、四〇三	五五、八一二	二五、六一〇	一〇六	八六
同	十六年	一六、六〇〇	五二、八五〇	五一、七八二	一七、六六八	一〇二	九四
同	十七年	二五、五四五	五七、八〇七	五七、六一八	二五、七三四	一〇〇	九九
同	十八年	二六、七九四	八五、九四八	六九、〇六八	一六、六七四	八五	一六〇
同	十九年	二二、八三六	七〇、九九四	七〇、〇三八	二三、七九四	一〇一	九六
同	二十年	二四、八三五	六二、四〇四	五六、五七一	三〇、六六八	一一〇	八一
同	二十一年	※一六、二三五	四三、八九四	四〇、五七三	一九、五五六	一〇七	八三
同	二十二年	※一三、七四五	三七、一六四	四二、九三七	七、九七二	八六	一七二
同	二十三年	※九、九三〇	二六、八四九	三四、一九六	二、六一六	七八	三七九

(※) 二十一年以降の海關報告は、各港の輸入に關し、外國品と國產品の區別をしてゐない。本表に用ひた數字は五ヶ年以前(十六年より二十年に至る)の平均外國品輸入高の總輸入に對する百分比を求めたものである。

前記の表によれば、例年四川省の國產品輸入高は輸出高と比較して大差なく、輸入が輸出以下の時もあり、不足の年でもその差は百分の十内外に過ぎない。

四川省貿易の國內關係について見れば、入超は別に大した額でもなく、時には却つて少量の出超すらもある。

外國品の輸入部分について見れば、貿易と入超とは影と形の相隨ふやうな感がある。例年の外國品輸入は入超總額の百分の七、八十以上に當り、時によれば二、三倍に上る。四川省は外國品の輸入さへなければ入超は云ふに足りないことが解る。近來四川省の文化漸く開け漸次工業化の傾向を辿り、例へば公路の修築が行はれ、自動車、自動車油、タイヤ、部分品等の需要は日々増加し、また風俗の開けるに従ひ羅紗、ネル、金巾の販路も擴大してゐる。これに反し土產の商品輸出は時代とともに増進することが出來ず、これがため外國品の輸入は入超の主體となつてゐるのである。

尙ほさらに參考のため最近五ヶ年間の四川省貿易を外國貿易と内國貿易に分け、その輸出入貨物統計を示せば左の如くである。

(イ) 重慶、萬縣最近五ヶ年間の外國貿易輸出入貨物統計(單位國幣千元)

輸 入		輸 出	
重 慶	萬 縣	重 慶	萬 縣
民國二十四年	二、〇〇〇 六一	民國二十五年	二、三六九 三八
民國二十六年	三、二三四 二九	民國二十七年	二、六〇〇 七
民國二十八年	一、〇〇〇 二五		

重慶縣	萬縣
民國二十四年	六九
民國二十五年	五七
民國二十六年	二〇四
民國二十七年	二〇三
民國二十八年	三七三

(口) 重慶、萬縣最近五ヶ年間の内國貿易輸出入貨物統計(單位國幣千元)

輸入

重慶	四四、八〇〇	五一、二九四	四六、一二〇	三四、五四〇	二六、四〇〇
萬縣	九、二〇〇	七、三三三	八、九四九	三、九〇〇	三、七〇〇
	民國二十四年	民國二十五年	民國二十六年	民國二十七年	民國二十八年

三

重慶縣	萬縣
二五、一〇〇	一一、六〇〇
三七、五六〇	一七、五八〇
三九、二三〇	一二、七四七
一六、四九〇	七、七〇〇
九、五〇〇	五、九〇〇
民國二十四年	民國二十八年
民國二十五年	民國二十七年
民國二十六年	民國二十八年

(ハ) 四川省最近五ヶ年間の内外貿易額比較表

差	輸入			輸出			年
	出	入	額	内	外	合	
超	超	額	國	國	計	國	計
民國二十四年							民國二十四年
		一九、二九二		三六、七〇〇	六九	三六、七六九	
民國二十五年							民國二十五年
		五、八五六		五五、一四〇	五七	五五、一九七	
民國二十六年							民國二十六年
		六、一五一		五一、九七七	二〇四	五二、一八一	
民國二十七年							民國二十七年
		一六、五八四		二四、二六〇	二〇三	二四、四六三	
民國二十八年							民國二十八年
		一五、三五二		一五、四〇〇	三七三	一五、七七三	

前表によるも明かなる如く、四川省の内國貿易はその輸入において約九六%、輸出において約九九%を占めてゐる。しかして外國貿易も内國貿易も入超の現象を呈してゐるが、外國貿易の輸出入の比は、内國貿易のそれに比して大きく、殆ど輸入片貿易の如き感を呈してゐるのである。いま外國貿易の最近三ヶ年間に於ける統計表を

示すと左の如くである。

四川省最近三ヶ年間の外國輸入貿易統計表

品 目	民國二十五年	民國二十六年	民國二十七年
生地綿布	四、九五七	七	九五
晒及び染色綿布	一、四六八	三	六九
擦染綿布	九〇	五八	一四九
雜類綿布	一三	一九〇	四〇九
棉花、綿紗綿線	一、五三七	九〇四	六三五
其の他綿製品	四一八	四七	四、三六七
亞麻、苧麻、大麻、榮麻及其製品	一二、九一二	一、〇三六	四七一
毛及び其の製品	五、一七五	四〇八	五、九一四
生糸(人造生糸を含む)及び其の製品	八二、八八七	一一八、三六八	六、四一八
金屬及び鑄砂	七四、一八三	一五六、五九八	七九九
機器及び工具	五九、一七七	一〇八、五一二	六〇六、三三一
車輛、船艇	五八、〇二五	九〇、一九七	四五、四九九
雜類、金屬製品			三六、二三八

魚介、海産品
 菓食、罐頭食物、日用雜貨
 雜糧及び雜糧粉
 菓品、子仁、蔬菜
 藥材及び香料
 砂糖
 酒、ビール、燒酒、飲料水等
 葉煙草
 化學產品及び製藥
 染料、顔料、油漆等
 蠟燭、石鹼、油、脂、蠟、膠、松香
 書籍、地圖、紙及び木造紙質
 生皮、熟皮及び其の他動物產品
 木、竹、藤、棕、草及び其の製品
 石炭、燃料、瀝青、コールタール
 磁器、陶磁器、硝子
 石料、泥土及び其の製品
 雜貨

五九、一九六	二七、一九一	一四、六四九
一、二七九	二、四三五	六、九七七
二一〇	一一	
一二	一八	一九
一二八、一二二	二四、四一五	三三、一四三
一二三	九三八	五、〇八四
九一	四三七	二七〇
一一九	四四	一、五一一
一〇、五四九	二〇、〇八七	三九、六三七
八、三九五	六、五二八	一〇、一六九
五四五、〇六九	九三五、六三五	三〇六、二九八
四、八八一	一、〇四三	三、〇七一
七一五	二三二	一六、三五八
四四六	八二七	一三五
	一六〇	
一、六八五	二九二	二五八
一、三六五	二一七	一、三三〇
七、八七七	一一、六八五	三六、三〇五

計

一、〇七〇、九五六 一、五〇八、五三三 一、一八一、六〇八

前表の如く外國輸入貿易は石油、揮發油が主である。その最近五ヶ年間の統計を示すと左の如くである。

品 目	民國二十四年	民國二十五年	民國二十六年	民國二十七年	民國二十八年
石 油	六四〇、〇〇〇 ^{リットル}	四一〇、〇〇〇	八九六、〇〇〇	三三八、〇〇〇	四〇八七
揮 發 油	一五〇、〇〇〇	三三〇、〇〇〇	四八三、〇〇〇	一一四、〇〇〇	一一、六九六

しかして來源地は蘭領印度が主で、米國がこれに次ぐ。

さらに次に重慶及び萬縣に於ける最近三ヶ年間の輸入品並びに四川省の輸出品に關する統計を示せば左の通りである。

(イ) 重慶海關に於ける最近三ヶ年間の輸入品價額及び來源地名表

輸 入 國	民國二十五年	民國二十六年	民國二十七年
濠 洲	一三二	四四	五、六一〇
澳 洲	四	三	
白 蘭 國	五、九八六	六、二〇八	二二二
ブ ラ ジ ル			二二三

和	メ	澳	日	伊	香	英	蘭	佛	佛	デ	セ	チ	カ	緬	英	印	英
	キ			太				領	領	ン	イ	エ	ナ		領		領
	シ							印	蘭	マ	ロ	ツ			ホ	東	ア
								度	西	！	ン	コ	ダ	甸	ル	ア	フリ
蘭	コ	門	本	利	港	國	逸	那	那	ク	ク	ヤ			オ	度	カ

一一一			二九、二四九	一、六六八	二三三、九四九	七八、七〇六	一四、二二〇	六、三三三	六、六一三	一一一	一	六八、〇七六	七、四四六	五		一〇五	
-----	--	--	--------	-------	---------	--------	--------	-------	-------	-----	---	--------	-------	---	--	-----	--

三、一五九			二、七九八	一七	五三、八四三	一八二、五四	一五四、二五九	二〇、四八三	二四六			二、〇〇〇	三、八〇三	六	三七		
-------	--	--	-------	----	--------	--------	---------	--------	-----	--	--	-------	-------	---	----	--	--

四二七	一一三	一六	二、一〇四	八	三〇、一二九	四二三、七〇五	二四九、六一四	七八七	四、八一三		一	二一、二二八	二、〇三四		一〇、二二〇	六九一	
-----	-----	----	-------	---	--------	---------	---------	-----	-------	--	---	--------	-------	--	--------	-----	--